



価値創造の全体像

リケンテクノスのあゆみ

1950～

創業・黎明期／企業基盤確立期

- 1951 理研ビニル工業（株）設立
塩ビコンパウンド製造開始
- 1956 カレンダーフィルム製造開始
- 1961 東京証券取引所第二部上場
- 1966 日本初の塩ビ食品包装用ラップを開発
- 1968 岡部工場操業開始（現 埼玉工場）
押出フィルム設備移設

売上高
（百万円）

140000

120000

100000

80000

60000

40000

20000

0

1950年度

1960年度

1970年度

1980年度

1990年度

2000年度

2010年度

2020年度

0



創業時



理化学研究所の
正面入口の門標

当社の前身である「理研ビニル工業株式会社」は、東京工業大学における塩化ビニル（塩ビ）配合技術の基礎研究から始まりました。1951年に創業し、わずかな資金で「人と技術」のみを頼りとする言わばベンチャー企業として出発しました。

1970～

国内事業基盤確立期

- 1973 大阪営業所開設（現 大阪支店）
三重工場操業開始
- 1974 東京・名古屋証券取引所第一部上場
- 1979 名古屋営業所開設
- 1984 ポリマー研究所設立
加工技術研究所設立（現 研究開発センター）
- 1989 RIKEN (THAILAND) CO., LTD.（タイ）を設立



三重工場

当社は創業以来、首都圏を中心に事業を展開してきましたが、1973年に大阪営業所、さらに三重工場を立ち上げ、関東・関西における生産販売体制を確立しました。また、翌年には東京・名古屋両証券取引所の第一部に上場しました。

1990～

本格的な世界市場進出期

- 1990 RIMTEC CORPORATION（米国）を設立
- 1994 熱可塑性エラストマーの販売開始
- 1995 PT. RIKEN INDONESIA（インドネシア）を設立
RIKEN U.S.A. CORPORATION（米国）を設立
- 2001 理研ビニル工業（株）からリケンテクノス（株）へ社名変更
上海理研塑料有限公司（中国）を設立
- 2003 理研食品包装（江蘇）有限公司（中国）を設立
- 2006 RIKEN ELASTOMERS CORPORATION（米国）を設立



日系企業が海外に進出し始めたこの頃、現地の材料調達に苦慮するお客様からの誘いをきっかけに、本格的な海外コンパウンド生産拠点として、1989年にRIKEN (THAILAND) CO., LTD.を設立しました。これを皮切りに、米国・インドネシア・中国と生産・販売拠点を拡大しました。

2015～

グローバル経営の深化

- 2011 RIKEN ELASTOMERS (THAILAND) CO., LTD.（タイ）を設立
- 2013 RIKEN TECHNOS INTERNATIONAL KOREA CORPORATION（韓国）を設立
- 2014 RIKEN VIETNAM CO., LTD.（ベトナム）を設立
- 2017 RIKEN AMERICAS CORPORATION（米国）を設立
- 2019 RIKEN TECHNOS INDIA PVT. LTD.（インド）を設立
- 2022 東京証券取引所プライム市場上場

海外事業の拡大に伴い、グローバル経営を意識した組織体制を構築してきました。生産体制の最適化および供給網の充実化を図り、グローバルで均一な「リケンテクノス品質」を提供しています。2022年からは、東京証券取引所「プライム市場」に上場しています。当社はこれからも挑戦し続ける「チャレンジャー」として歩んでいきます。

営業利益
（百万円）

12,000

10,000

8,000

6,000

4,000

2,000

0

1950年度

1960年度

1970年度

1980年度

1990年度

2000年度

2010年度

2020年度

0

※ 1998年度まではリケンテクノス単体の売上高、1999年度からはリケンテクノスグループ連結の売上高の推移となります。

売上高 営業利益

価値創造の全体像

本業を通じた貢献

地球環境の保全

社会との共生

事業基盤の強化

ステークホルダー

データセクション